

# 共謀罪法案が衆院本会議で可決!!

衆院本会議で23日、民進党をはじめ野党4党の反対を押し切って共謀罪法案（組織犯罪処罰法改正案）が強行採決され、自民党、公明党、日本維新の会らの賛成多数で可決されました。民進党は政府与党の横暴な議会運営に強く抗議するとともに、国連からも人権を制約する恐れがあると問題視された共謀罪法案を廃案に追い込みます。



記名投票で法案反対の青票をかざす議員ら

# 国連も共謀罪法案に懸念示す!!

国連特別報告者は18日付けで、共謀罪法案について「プライバシーや表現の自由を制約するおそれがある」との懸念を表明する書簡を安倍総理宛に送りました。「プライバシー保護の適切な仕組みがない」「対象犯罪が幅広く、テロリズムや組織犯罪と無関係のものを含む」などの問題を指摘し、必要な保護措置を導入すべきだと主張しています。